

# 環境活動レポート

2017年度版

〔 対象期間 : 2017年7月～2018年6月 〕

発行日 : 2018年8月8日



## 目 次

1. 組織の概要	.....	2
2. 環境方針	.....	3
3. 環境目標及びその実績	.....	4
4. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	.....	5
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	.....	6
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	.....	6

## 1. 組織の概要

### (1) 社名、代表者名及び本社所在地

社名 株式会社 新和電工

代表者 代表取締役 長島 義博

本社所在地 〒 136-0072 東京都江東区大島1-9-8

### (2) 会社設立及び資本金

設立年月日 1962年10月1日

資本金 4,200万円

### (3) 事業の概要

電気設備工事及び建築関連工事

### (4) 事業所及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	業務内容	認証登録対象該否
本社	東京都江東区大島1-9-8	オフィス活動 見積設計業務	該当
埼玉営業所	埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎町25-7	オフィス活動 見積設計業務	否
横浜営業所	神奈川県横浜市中区南仲通3-30-2	オフィス活動 見積設計業務	否

※上表の認証・登録対象外事業所については、2019年7月から運用を開始し、対象範囲として拡大致します。

### (5) 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 所属 総務部 役職 部長 氏名 後藤 圭一  
環境業務担当者 所属 総務部 役職 部長 氏名 後藤 圭一  
連絡先 住所 〒 136-0072 東京都江東区大島1-9-8  
電話 03-5628-2111 FAX: 03-5628-2132  
電子メール [gotoh@shinwa-dk.co.jp](mailto:gotoh@shinwa-dk.co.jp)

### (6) 事業の規模

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年
売上高	百万円	3,095	3,782	3,016	3,129
従業員数	人	85	81	86	89
床面積	m <sup>2</sup>	1,049.40	1,049.40	1,049.40	1,049.40

### (7) 事業のための主な許可取得状況

①許可の内容	建設業の許可	登録電気工事業者届出
②許可番号	国土交通大臣許可(特-29)第136号	東京通商産業局長届出 第48007号
③許可年月日	2017年9月13日	1973年9月13日
④許可有効年月日	2022年9月12日	—
⑤許可事業の範囲	電気工事業	一般用電気工作物・自家用電気工作物

## 2. 環境方針

# 環境方針

## [ 理 念 ]

株式会社 新和電工は、事業経営における環境への取り組みの重要性を強く認識し、当社の電気設備工事に適合した環境経営システムを構築し運用することにより環境に配慮した事業活動並びに製品サービスの提供に取り組み、企業力向上を図るとともに環境保全に寄与することを宣言します。

取り組みに当たっては、環境関連法規等を遵守し、次の基本的方向に基づき全従業員参画により環境活動を推進します。

## [環境への取組の基本的方向]

1. 二酸化炭素排出量削減
  - ① 事業所内における節電に取り組みます。
  - ② 現場事務所における節電に取り組みます。
  - ③ エコドライブを意識し、車両の節燃に努めます。
2. 廃棄物排出量削減
  - ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に取り組みます。
  - ② 建設工事に関わる産業廃棄物の発生の抑制及び適正処理に努めます。
  - ③ 資源の有効利用とリサイクルを推進します。
3. 水使用量削減
  - ① トイレ、手洗い、キッチン利用時の節水に努めます。
  - ② 建設工事に関わる水使用量の抑制に努めます。
4. 化学物質量の削減(管理)
  - ① 化学物質を使用する場合は適切に使用量管理を行います。
5. グリーン購入の促進
  - ① 事務用品のグリーン購入を推進します。
  - ② 車、事務機器(PCなど)についても環境配慮型製品の購入を推進します。
6. 環境配慮製品・サービスの提供
  - ① お客様への省エネ、環境配慮型製品の情報提供と導入提案を促進します。
  - ② 環境配慮型工事の受注拡大に努めます。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2015年 7月 1日

株式会社 新和電工  
代表取締役 長島 義博

3. 環境目標及びその実績

環境目標項目			基準年	年度目標			2017年度の実績		
			2014年度 実績値	2015年度	2016年度	2017年度	(2017/7 ~2018/6)	目標 達成	
1 二酸化炭素 排出量の 削減	〔目標値設定率〕			基準値比	基準値比	基準値比			
				2 %削減	4 %削減	6 %削減			
	(1)電気使用量の削減	kwh	47,978	47,018	46,059	45,099	49,341	×	
	排出係数 0.530	kg-CO2	25,428	24,920	24,411	23,903	26,151		
	(2)現場電気使用量管理	kwh	0	自社管理の 使用量把握	自社管理の 使用量把握	自社管理の 使用量把握	0	—	
	排出係数 0.530	kg-CO2	0			0			
	(3)化石燃料 使用量の削減	ガソリン	L	41,360	40,533	39,706	38,878	36,989	○
		2.32166	kg-CO2	96,024	94,103	92,183	90,262	85,877	
		軽油	L	1,449	1,420	1,391	1,362	1,539	×
		2.62434	kg-CO2	3,803	3,727	3,651	3,575	4,040	
都市ガス		Nm <sup>3</sup>	11,407	11,179	10,951	10,723	13,839	×	
2.10843	kg-CO2	24,051	23,570	23,089	22,608	29,179			
計	kg-CO2	149,306	146,320	143,333	140,347	145,246	△		
2.廃棄物排出 量の削減	〔目標値設定率〕			基準値比	基準値比	基準値比			
				2 %削減	4 %削減	6 %削減			
	一般廃棄物 廃棄 排出量	t	12.00	11.76	11.52	11.28	13.86	×	
	資源 リサイクル	t	—	排出量把握	排出量把握	排出量把握	0.483	—	
	産業廃棄物 廃棄 排出量	t	21.00	排出量把握	排出量把握	排出量把握	81.20	—	
	資源 リサイクル	t	—	排出量把握	排出量把握	排出量把握	0.08	—	
3.水使用量 の削減	〔目標値設定率〕			基準値比	基準値比	基準値比		△	
				1 %削減	2 %削減	3 %削減			
	水使用量	m <sup>3</sup>	307	304	301	298	307		
4.化学物質 の管理	使用量 の把握	kg	—	使用量把握	使用量把握	使用量把握	0	—	
5.グリーン 購入率の向上	間接物品の グリーン購 入	%	45	50	55	60	64.3	○	
6.環境配慮製 品 サービスの提供	環境配慮関 連 工事の拡大	%	20.6	21.0	22.0	23.0	49.2	○	

※2018年度以降の目標は、2017年度を基準に目標を設定致します。

目標達成基準 : ○…目標達成 △…僅かに未達成(95%以上) ×…目標未達成

4. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

[評価基準] ○：良くできた △：ある程度できた ×：出来なかった

環境目標項目		環境活動計画取組内容	取組結果と評価(○△×)		次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	①照明の適正管理 ②空調の適正管理 ③休憩時の消灯 ④退社時のパソコン電源OFF	①不在エリアの消灯を徹底できた ②不在エリアのOFFを徹底できた ③昼休憩時の消灯を徹底できた ④全社員への啓発を実施	△ ○ ○ △	今年度取組内容に加え、電気の「見える化」による啓蒙活動を実施する。
	化石燃料使用量の削減	①急発進・急減速の抑制 ②車内空調の適正使用 ③アイドリングストップの励行 ④公共交通機関の利用 ⑤空調温度の適正管理 ⑥不在時空調の電源OFF ⑦退社時の空調電源OFFの励行	①全社員への啓発を実施 ②全社員への啓発を実施 ③全社員への啓発を実施 ④全社員への啓発を実施 ⑤基準温度設定を実施 ⑥不在エリアのOFFを徹底できた ⑦退社時の電源OFFを実施できた	× × × ○ ○ ○ ○	今年度取組内容を継続。
2	一般廃棄物の削減	①裏紙の活用促進 ②ゴミの分別徹底 ③ペーパーレスの促進 ④コピー・印刷ミスの低減	①全社員への啓発を実施 ②分別用ごみ箱の設置 ③会議資料等の電子化を実施 ④全社員への啓発を実施	△ ○ △ △	今年度取組内容に加え、紙類のリサイクル促進を行っていく。
	産業廃棄物の削減	①分別の徹底 ②リサイクルの促進	①全社員への啓発を実施 ②全社員への啓発を実施 ③産廃置場の表示実施	× × ○	今年度取組内容を継続、特に不良在庫を整理しリサイクルの促進を一層強化していく。
3.水使用量の削減		①節水の徹底	①全社員への啓発を実施	△	今年度取組内容を継続。
4.化学物質使用量の管理		①化学物質の使用量把握	①化学物質は未使用	○	今年度取組内容を継続。
5.グリーン購入率の向上		①環境対応商品の購入促進	①環境適合品の購入促進を実施	△	今年度取組内容を継続。
6.環境配慮製品・サービスの提供		①環境配慮工事の提案促進	①省エネ・高効率製品の提案実施	○	今年度取組内容を継続。

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 関連法規等の遵守状況

当社事業及び製品に関する主な環境関連法規等は下記の通りであり、今年度確認の結果問題はありませんでした。

遵守状況確認日 2018年 6月 9日

法律名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	①廃棄物排出抑制、適正処理 ②保管基準の遵守 ③処理委託業者との二者契約 ④マニフェストの適正管理	①建設副産物の再利用 ②産廃保管場所の特定・表示 ③収集運搬・処分業者との契約締結 ④マニフェスト交付、回収、保管	適正遵守
資源リサイクル法	①資源有効利用基本(3R) ②家電リサイクル法 ③自動車リサイクル法 ④建設リサイクル法	①資源3Rの推進 ②家電リサイクル法の遵守 ③自動車リサイクル法の遵守 ④建設リサイクル法の遵守	適正遵守
省エネ法	①エネルギー使用の合理化	①省エネルギーの推進	適正遵守
騒音規制法	①特定建設作業実施届 ②騒音規制値の遵守	①届出対象作業なし ②工事施工時の騒音低減	適正遵守

(2) 外部からの違反、訴訟等の有無

当社は、関連機関からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟等は、これまでにありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について以下の通り、評価と見直しを行いました。

項目	内 容		
1.見直し実施日	2018年7月25日(水)		
2.出席者	代表取締役、環境管理責任者、部門責任者		
3.報告した情報	①環境目標達成状況 ②環境活動計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの苦情、要望等		
4.代表者の評価	身近に実行できることはおおむね評価できるが、未達成の部分が多く見受けられるので、周知徹底と個別対策が必要である。また、事業規模や人数などに対する原単位管理など目標値の見直しを考える必要がある。		
5.見直しの結果	見直し項目	変更の有無	変更の内容
	①環境方針	有・ <del>無</del>	
	②環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	目標値の見直し
	③環境活動計画	有・ <del>無</del>	
	④環境経営システム	有・ <del>無</del>	